業者にも住民にも喜ばれ仕事が増える
住宅リフォーム助成制度を松浦市でも

長崎県内「住宅・店舗リフォーム制度」実施自治体と実施実績の状況　＊H24年4月16日現在

	項目	①五島市	②南島原市	③長崎市	④佐世保市	⑤雲仙市	⑥平戸市	⑦大村市
制度の内容	実施開始年度	H21年9月	H23年1月	H23年2月	H23年4月	H23年5月2日	H23年3月15日	H24年4月2日
	1件当たりの補助金額限度額	10万円	20万円	10万円	10万円	20万円	10万円	10万円
	工事最低金額	30万円以上	30万円以上	20万円以上	20万円以上	20万円以上	30万円以上	20万円以上
	補助対象工事	住宅、店舗	住宅、店舗	住宅	住宅	住宅、店舗	住宅、店舗	住宅
	補助金交付額	対象経費の10%	対象経費の10%	対象経費の10%	対象経費の10%	対象経費の10%	対象経費の10%	対象経費の10%
	当初の補助金予算総額	1,000万円	3,000万円	2億円	4,200万円	3,000万円	1,000万円	2,000万円

地域経済の活性化に大きな役割を果たしている住宅リフォーム助成制度。県下では平戸市、佐世保市、長崎市などすでに7市でこの制度が始まっています。

佐世保市では昨年4月から今年1月10日まで1271件の申請があり、市の補助額1億2444万3千円で、工事総額は15億8370万円でした。市内1000件の建設業者のうち3割がこの制度を活用し、9割の業者が売上増に効果があったと言われています。

安江市議　前の議会のときも、やっぱりこういう助成制度は仕事おこしに効果があると認められていますので、再度住宅リフォーム助成制度の創設を求めます。

市長　検討させていただいており、いろいろ効果があることも承知いたしております。ただ現在、松浦市高齢者・障害者住宅助成事業を実施しており、一般家庭への住宅政策はまず太陽光発電の補助制度を24年度中に制度設計を行っていきたいと思っておりますので、このことも含めて今後さらに検討を加えたい。

伊万里湾磯焼け対策・環境浄化の森づくり実行委員会の植樹活動（記事とは関係ありません）

まだまだ課題いっぱいの小中学校統廃合問題

どんどん進められる小中学校の統廃合。安江ゆう子市議は地域説明会でだされた意見などをもとに質問しました。

安江市議　御厨小学校の運動場が狭いので、去年の運動会で地区のテントが張れなかったということだが、実際はどうだったのですか。

教育庶務課長　テントはこれまでのように張れなかった。

安江市議　御厨小学校の運動場は60メートル×53メートル。直線の徒競走の練習もできないし、大崎小学校と田代小学校が一緒になって運動会をするとき保護者や地域の人がはいるテントはどういうふうに考えていますか。

教育庶務課長　現在の敷地の中でよりよい方策と創意工夫をしていただく。

安江市議　これまで大崎、田代小学校の運動会は地域上げての全住民参加の行事でした。地域で子どもを育てる、この地域ならではの伝統が失われます。教育の面からどう考えられますか。

教育長　現在の御厨小学校のグランドは十分運動は可能じゃないか。どの学校においても100メートルとれませんけど、その中で工夫をやりながらやるところが、また一つ子どもたちにとってはいいトレーニングにもなっていく。学校の運動会は地域、職員、それと児童と一緒になってやるのがこの運動会。地区で行われる運動会も今後どんどんやっていかなきゃいけない課題。御厨地区でも星鹿地区でもやっております。

安江市議　乗り合いバスの御厨小学校の校区内補助は県のガイドラインでは補助開始後5年間ですが、5年後も市の負担で続けますか。

教育庶務課長　その分については要項に基づいて補助いたします。

安江市議　青島中学校のことですが、説明会の中でもフェリーの増便の見通しができず、統合のための準備員委員会は今の段階で設置できないという発言は間違いありませんか。

学校教育課長　間違いありません。

安江市議　統廃合というのは、昭和48年の文部省通達と平成20年の県のガイドラインにもあるように、地域住民との間に紛争を生じさせたり、通学上、著しい困難を招いたりすることは避けなければならないとありますので、その通達にのっとって今後すすめていただきたい。

土曜、日曜、祝日も乗り合いバスを運行してほしい

文化会館や「きらきら」での行事に気軽に行けるよう土曜日、日曜日、祝祭日でも乗り合いバスの運行が、星鹿や大石地区をはじめ各地区から要望されています。

地域住民同士が気軽に話ができ、「お互いさま」の気持ちで生活できるまちづくり（市長答弁）をめざす松浦市地域福祉計画の精神にたって、実現してほしいですね。